

①

「すくすくファイルに関するアンケート」記入内容

平成 25 年度発達障がい者支援に関する実態調査集計結果

【公立保育園】

問3 「すくすくファイル」を具体的に使用しましたか。 9 その他 ()

- ・記録のみしていて、何か相談や就学の際に使用しようと保管している。
- ・就学の際、小学校に持参、担任にみせた。
- ・誰にもみせていない。

問4 「すくすくファイル」の使い勝手について教えてください。

(1) ファイルの内容について 4 その他 ()

- ・使い方がわからない、使い方について周知が必要かと思う。
- ・表紙が薄いので使いづらい、分厚い方がよい。
- ・あまり使用しないのでよくわからない。知らない。あまり活用できない感じがします。
- ・お祝いで頂いたり、出産直後から記録するノートや母子手帳があるのであまり使わない。
- ・母子手帳と同じように書いて、しょっちゅう見せられるように専門機関で使えるようにしたい。母子手帳があるので、あまり使用しないのでは、母子手帳の中に組み込んでもらえると助かる。母子手帳に記入しているので、すくすくファイルには書かない。
- ・いろいろ書きたいが時間がなかった。産後にほしかった。
- ・小さめにしてほしい。本の形やファイル（しっかりしたもの）の形でないと破れやすく使いにくい。
- ・使ってないのでわからないのですみません。存在自体覚えていない。

問4

(2) 大きさ (A4 版) について、使いやすいファイルのサイズは？

- ・母子手帳サイズ、母子手帳とセットで使える大きさがいい。
- ・A5 または母子手帳と同じサイズの方が使いやすくバックにも入れやすいと思う。
- ・B5、ノートサイズ、A6、B6
- ・壁にはったり、カレンダー形式できる大きさがいいのではないかと思います。

問4

(3) 紙質について 3 その他 ()

- ・保管に効く紙質だと思わなかった。表紙は厚みがある方が使いやすい。
- ・ちょうど良いと思うけれど、成人までもつか少し心配。

- ・もっとしっかりしたものにしてほしい。

問6 問5で「1」子育てにおいて気になるところがあるを選択した人について

どこか相談されたことがありますか。3医療機関名 9その他（ ）

- 3・静岡県立こども病院、静岡医療福祉センター、県立総合病院、静岡済生会病院・小児科、森本小児科、桜ヶ丘病院、言語
- 9・児童館・子育て支援センター、ろう学校、ゆめの木、清水飯田南保育園、親、障がい者の子をもつ友達など、1歳6か月健診、特に相談していません、心理相談

問7 そのほか何かお気づきの点がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・利用したい人のみダウンロードできれば良いと思う。
- ・パソコンやi p h o n（携帯）などで使えるソフトとし、利用できるようにする。
- ・すすくファイルの位置づけがあいまいなので活用法を教えてください。
- ・相談先で色々記入することが多く、毎回同じようなことを記入するのに手間を感じています。発達のことは、こちらを見せればOKというような、統一してもらえるとうれしいです。
- ・どもりがありますが、スムーズに言葉が出る時もあり、主にリラックスしてる時などはどもる事はありません。
- ・少しどもる時が気になります。人の話を聞く力が弱い。
- ・早産で未熟児で生まれ、「すすくファイル」のようなものがあつたらと思ったことがあります。実際の月齢と修正の月齢で成長が違い、成長していくのに不安がありました。
- ・母子手帳ほど、すすくファイルの存在を気にすることがなかった。
- ・保健福祉センターにあるのなら、3歳児健診で配付してくれればよかったのに…乳児記録（～3歳くらいまで）のみなら今更必要ありませんが。
- ・ファイルをもったのか、もっていないのか覚えていません。もっていたとしたら、見てもいなくても申し訳なかったのですが、見ている時間がなかったのも事実です。（初めての子育てで必死でした）
- ・食べ物の食べむらがあるなど子どもの成長のQ & Aなどの書類があつたらいいと思いました。
- ・小さいなりに成長しているので周りやこうでないと、とか気にならないです。
- ・6か月児育児相談に行っていない。8か月末に育児相談へ行った。
- ・独り言が少し増えてきた。
- ・「すすくファイル」のことを知らなかった。もっと早くに知っていたら使用したかった。
- ・ファイルをもったまましまい、ファイルの存在を忘れていました。今回、内容を見て、これから使用していこうと思った。
- ・最初から全員にすべてのシートを分けてくれるとうれしい。
- ・気にしすぎだった事がわかり、それだけでも相談してよかったと思います。保育園では、色々子どもの気になる行動などいつも相談して、アドバイスをたくさんもらって家で

きることは活かしているつもりです。

- ・初めて知りました。見てみます。
- ・育児日記を持っていたので、そちらに成長記録をしていました。
- ・母子手帳のように重要視しなかったのも、もらったかどうか分からない。すみません。
- ・すすくファイルは使いにくい。母子手帳と2つつけるのは煩わしい。母子手帳は書き込める所が少ないので、母子手帳をもう少し充実させてほしいです。
- ・健診などで、保健師さんの相談の待ち時間が長くて待つのが大変です。
- ・すすくファイルというものを知りませんでした。もっていない。
- ・特別支援教室のない小・中学校にも周知しておく、連続した情報を共有でき、より活用できると思う。
- ・学校（静岡市内）へ持参したら、「これは何か？」と聞かれた。市で統一しているものならば、市内園、小・中学校など関係各所へ周知すべきと思う。
- ・ファイルの存在を今回初めて知りました。9か月の時に静岡市に転入したのですが、その時に何の説明もなく配付していただけなかったことがとても残念です。
- ・仕事をしているので、相談機関が土日があると助かります。月に1回でも土日を作ってもらえるとういよな、と思います。
- ・このアンケートで初めて知りました。ちゃんと使用している人がいるのかどれだけいるのか？必要なものなのかどうか疑問です。
- ・記入しておかないと忘れてしまうので、便利なファイルだと思います。
- ・母子手帳とセットで使えると便利だと思う。2冊保存するのは大変。
- ・実際に、書く指導をしてほしい。長い説明ではなく、親の会を開いてほしい（託児つき）
- ・母子手帳が唯一の記録になっているのと保育園での連絡ノートを成長記録として保管しています。
- ・体が小さいので沢山食べれるよう考えています。・身長伸び方。
- ・いただいた記憶がない、すみません。すすくファイルは見たことがありません。
- ・母子手帳と内容がどう違うのかわかりません。
- ・使ってなくてすみません。
- ・記入はしているが、特に見せて使用してはいないです。

【私立保育園】

問3 「すくすくファイル」を具体的に使用しましたか。 9 その他 ()

- ・家で別ファイルにて記録しているので、必要に応じてそれを活用している。

問4 「すくすくファイル」の使い勝手について教えてください。

(1) ファイルの内容について 4 その他 ()

- ・使い方を配付時に説明してほしかった。
- ・ぺらぺらで使いにくい。カスタマイズしにくい。非実用的。もっと丈夫に作ってほしい。
- ・全てにふりがなをつけていただいておりますが、逆に読みにくいです。(すみません、この内容から、本人が活用することはあまり考えられないのですが)
- ・配付の際特に説明もなく使い勝手がわからない。
- ・私は個人的に母子手帳に記録をつけていたので必要性を感じなかった。持ち歩いたりできる方がいいので、A4 で薄すぎて使い勝手が悪そうだったので使用しなかったのが理由です。母子手帳のように厚くなってもいいのでコンパクトな方がいいと思います。
- ・基本的に別の冊子(母子手帳など)に記入しています。
- ・発達と成長を記録するのは、何十年も使えるように冊子のようにしてほしい。
- ・母子手帳やお薬手帳に記入する事と重複していて、あまり活用する機会がありません。
- ・見た覚えがない
- ・表紙が薄くてぺらぺら。ぐちゃぐちゃになる。・成長発達記録について書くページがなくて使い勝手が悪い。オプションの意味が分からない。問診票に転記できるくらい詳しく書ける内容のものが良い。・不要なページを検討した方が良いかも。
- ・使用していないので何とも言えない。記入しようという気持ちが出てない。今のところ母子手帳でたりているかな、と感じる。
- ・1歳まではみんな好きな育児日誌をつけているので、それで十分。すくすくファイルは必要なし。
- ・日々育児に奮闘する中で記録が大事とは思っていても、なかなかできない。母子手帳、産院からもらった育児ノート、個人的な育児日記の記入でいっぱいいっぱいでした。母子手帳に組み込めたら二度手間にならない気がした。

問4

(2) 大きさ(A4版)について、使いやすいファイルのサイズは?

- ・母子手帳サイズ、母子手帳にはさめるくらいの大きさ。
 - ・B5、A5、B6、A6、カバンに入る大きさ。
- コンパクトかつ簡単に書けるものなら書きやすい。

問4

(3) 紙質について 3 その他 ()

- ・ぺらぺらすぎ。使っていない。
- ・表紙のみもう少ししっかりしてもいいかもしれない。

- ・20年くらい使うのであれば、保管方法を考えないと紙が破けてくる。
- ・ページの角がすぐにめくれてしまい、成人まで冊子がもつのかな、と思います。
- ・母子手帳サイズの方が活用しやすいと思います。
- ・成人まで使用する人はごくまれだと思う。
- ・表紙をもう少し厚くしてほしいです。

問6 問5で「1」子育てにおいて気になるところがあるを選択した人について

どこか相談されたことがありますか。3医療機関名 9その他()

- 3 かん小児科クリニック、県立こども病院、静岡医療福祉センター、桜ヶ丘病院、清水病院、県立総合病院、静岡済生会総合病院、清水厚生病院、かかりつけの小児科、親のかかりつけの歯科、
- 9 個性と思いあまり心配しないように見守っています。
- 9 静岡聴覚特別支援学校
- 9 言語が多少気になりますが、兄が言語教室に通いよくなったので、もう少し家庭で様子を見てみます。

問7 そのほか何かお気づきの点がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・母子手帳サイズがよい。紛失してしまったようで大変申し訳ありません。
- ・三人目は為、母子手帳にメモ程度に残すことが多く、すすくファイルを目的のように活用できていません。(すみません) こんなふうを使用するといいですよ、みたいな活用例があるといいと思います。
- ・母子手帳と一緒にあったらいい。何個もあると使わない。必要ないです。
- ・素敵なファイルではありますが、正直使いにくいです。予算もあると思いますが、せめて、ハードカバー又はハードバインダーにしていただけるとありがたいです。発達、発育は母子手帳にも書いているので、それとのかね合いも何かもう少し…母子手帳のような「すすく手帳」だといいかもかもしれません。でも、それだとファイルが増やせませんね。フル活用している人のすすくファイルを見てみたいです。いつも子どもたちのことを考えてお仕事していただきありがとうございます。
- ・言葉のおくれがあり医療センターでSTを受けたいが先生の人数が足りず受けられない。医療センターの診察も初診は3か月以上待った。さくらんぼ教室も半年待ちました。受け入れ先とおくれがある子どもの人数があっていない。もう少し需要と供給のバランスを早急に見直して下さい。市や県が本気で考えてくれれば何とかかなと思います。
- ・発達に特に不安がなかったので使用しませんでした。
- ・時間に余裕がある母あるいは父であれば、事細かに記録していきだろろうが、無いとなると記入もせず、ファイル自体勿体ない。母子手帳があるのだから、すすくファイルの内容や記録シートを融合したらどうか。
- ・あまり開いたことも使用したこともありませんでした。
- ・母子手帳が一番見返し易いので、母子手帳のページの方で増やしてほしい。

- ・ 保育園の生活表と母子手帳の記録で成長がわかるので、現在の生活の中ではすくすくファイルは不要。
- ・ 仕事をしています。毎日、仕事、家事、育児のノルマをこなすのに必死でファイルを活用する余裕もなく、全く使っていなかったの、あまり回答できませんでした。
- ・ 3歳のレベルでどのくらいしゃべれるのか具体的にわからないので、自分の子どもが3歳のレベルにいるのか心配です。
- ・ もう少し質がいいものにした方がみんなも使うかも。
- ・ 記録シートが細かすぎる。忙しくて振り返ってノートに記入するタイミングがない。
- ・ 1歳から保育園に通っているので、成長記録は何かしら記録されているのですくすくファイルはいらない。
- ・ 生後3か月から他県（埼玉）に移り、1歳3か月で清水に戻ってきたので「すくすくファイル」を持っておりませんでした。是非、頂けたらと思います。よろしく願いいたします。
- ・ 2歳の頃に他県から越して来ましたが、そんな良い本・ノートがもらえなかったのが残念です。予防接種のシールと一緒にいただきました。
- ・ 転入（焼津市）してきたので、持ってません。
- ・ 23年4月27日に6か月健診をしましたが、すくすくファイルを配付してもらった記憶がありません。今更活用する気はありませんが、ファイルの中身がどのようになっているか不明ですが、生まれてからの成長記録ならば、出生届後自宅送付等するとかにした方が良いのでは？
- ・ すくすくファイルがあることを知らなかった。
- ・ 全く活用していなかったの、一度よく見てみようと思います。（というか、もらっていた記憶もさだかではないです。）
- ・ 気軽に子どもの事（発達・育児の悩み）を相談するところがほしい。
- ・ 働く母親への支援はまだ不十分です。祖父母、夫に頼れない環境にある母親が気軽に頼れる相談先を紹介してください。一時預かりも一か月前から予約となれば緊急時に利用できません。
- ・ 出産した病院で、育児記録の本をもらったので、生まれてからずっとそちらの方へ成長記録をつけているので、すくすくファイルは使用していませんでした。
- ・ 覚えていない。この存在について、すっかり忘れていた。
- ・ 頂いた記憶があまりないのですが、このように使うものです、という説明を受けた記憶が残っていません。配付物の中に説明のお便りが同封されていたかもしれませんが、その当時はなかなか配付物を丁寧に見返している余裕がありませんでしたので、目をとおしていません。配付時に説明していただくとありがたいです。丁寧な説明があったならすみません、覚えてないです。
- ・ せっかく頂いたのにすみません。すぐ保育園にお世話になりましたので連絡ノートの記

入と先生方とのやり取りで十分に感じていました。もう一度見直します。

- ・すくすくファイルがどんなものかもわからない。
- ・母子手帳の様に冊子の方が良く、内容が重複せず記入できると良いと思う。
- ・使用方法が良くわからない。説明されないと。6か月でもらっても使いづらい。どうせなら、生まれた時にほしい。その方が母子手帳の詳しい版みたいなイメージで発達に応じて書きやすい。
- ・いただいた時に発達障がい等心配なことがあったら記録して相談に活用するものという認識でした。ターゲットを広げすぎると誰も使わないで終わってしまうものになってしまうのでは。汎用のものとするなら、母子手帳にはさんで成長をちょっとメモするぐらいの使い方だし、発達障がい等心配な場合には量等少なすぎるし、中途半端な感じがしました。
- ・1人目のお子さんの場合でしたら、こういうものは必要かもしれませんが、2人目3人目は書くような余裕はないですので、第1子の方だけに配付すればよいのでは。
- ・ファイルのことを今回初めて知った。
- ・なかなか面倒くさがりのため、利用していませんでした。せっかく頂いたのに申し訳ありません。
- ・怒ったりすると手をつねったりかもうとするくせがあります。直るか心配です。
- ・すくすくファイルというのがあるのも知りませんでした。もっと有効に使ってもらうようにした方がいいと思います。
- ・どういう視点で子どもの発達を観察していけばよいのか、視点のポイントをのせるか、記録用紙の様式を取り入れるか、してもよいかもしれません。すくすくファイルを健診等で活用すれば、ファイルの存在自体忘れられず、子どもの発達サポートにより活用されるようになるのではと思います。
- ・今後活用してみようと思います。
- ・すくすくファイル頂いた際に記入しておりましたが、用紙が薄すぎファイルがすぐにあたんでしまい使用しづらかった。ファイルが大きすぎ、持ち運びにも不便さがありました。
- ・配付開始前に健診を受けているため持っていません。
- ・1歳過ぎに引っ越してきましたが、存在も知らなかったし、3歳児健診でも持っているかなど聞かれなかったのでよくわかりません。
- ・もらった当初は中身を確認しましたが、それっきり本棚にしまったままでした。
- ・すくすくファイルを見せていただき、使用方法を教えてくださいました。
- ・もらった記憶はありますが、現在手元にありません。
- ・6か月の育児相談（集団健診）の頃、ちょうど長期の入院などが重なり行けず、すくすくファイルの存在自体知りませんでした。9か月の歯科検診や1歳半健診は受けていたので、参加した時にでも教えてもらえたら活用できたかも、と残念です。
- ・すくすくファイルを頂くときに、詳しく説明をしてもらえると、どのように使用していけばいいのかわかるとと思います。

- ・ 使い方の説明などがなかったし、あまり利用する気にならないものでした。
- ・ あまり周知されていないと思います。
- ・ H23.4月末に6か月健診に行ってますが、そのファイルをいただいた覚えがなく、御協力できずすみません。成長日記は別につけていますので。

成長の過程で、どこかに提出したり母子手帳の様に必ずなくてはならないもの、とは思わなかった為、また必要だと感じなかった為、処分してしまいました。せっかく頂いたのにごめんなさい。

【幼児言語教室】

問3 「すくすくファイル」を具体的に使用しましたか。 9 その他 ()

- ・ 小学校の先生
- ・ 2月に医療福祉センターに持っていきます。

問4 「すくすくファイル」の使い勝手について教えてください。

(1) ファイルの内容について 4 その他 ()

- ・ どんな時に使っていいかわからずあまり活用できていません。
- ・ 年を記入するのがめんどくさい。子どもが何歳の時ならすぐ書けるが。
- ・ 使用していないのでわかりません。すみません。少し使いにくい

問4

(2) 大きさ (A4版) について、使いやすいファイルのサイズは?

- ・ 母子手帳と同じ大きさが良いと思います。
- ・ 持ち運びやすいサイズ、B5、A5、ノートサイズ
- ・ 母子手帳サイズだと手元において書き忘れがない。

問4

(3) 紙質について 3 その他 ()

- ・ 表紙がぺらぺらすぎる。長く使うので、もう少し厚くても。
- ・ 表紙はもっと丈夫なものにした方が長く使えると思います。
- ・ 見せたりはしていないが、過去の記録等忘れてしまうことがあるので、書いておくとういと思います。
- ・ 表紙・裏紙はもう少し厚い(プラスチック、厚紙など)方がいいかも。

問6 問5で「1」子育てにおいて気になるところがあるを選択した人について

どこか相談されたことがありますか。3 医療機関名 9 その他 ()

- 3 静岡医療福祉センター、静岡済生会病院、川野辺小児科、望月小児科医院、こども病院、県立総合病院(耳鼻科)、静岡赤十字病院、柴山クリニック、エンゼル歯科、県立総合病院小児科→県立総合病院言語教室、こども病院発達診療内科
- 9 幼稚園、幼保園の5歳児健診、児童相談所、静岡済生会病院(健康診断)

問7 そのほか何かお気づきの点がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・ 育児相談をする所がわからない。
- ・ 母子手帳があるので、すくすくファイルを母子手帳などと一体化したらもっと利用しやすいと思います。
- ・ 「きらり」や各自HPからダウンロードで印刷ではなく、幼児言語教室や市役所、小児科等に配布して、手に取りやすくしてほしい。又、お姉ちゃんの時は、「すくすくファイル」をそのままみせるよりも、自分で要点をまとめて、学校側に伝えた方がスムーズだった。(すくすくファイルはあくまで、記録用としてまとめる原本のようなもの。)
- ・ 他市町村より転居してきたので、すくすくファイルを知りませんでした。役所へ行く機

会はすくないので、広報などでもこういったものがある事を伝えてもらえるとありがたく思います。

- ・ 幼児言語教室から頂きました。(去年) 指導内容、育ち等書いてあり、大変役に立っております。

- ・ 未熟児でこども病院に5か月程度入院していました。その後の検診もこども病院で行っていた為、市の健診は受けたかどうか記憶がありません。なので、すくすくファイルをもっていないのかもしれませんが。

- ・ 「すくすくファイル」を知らない人もけっこういるので、特に小さい時、ダウン症の場合、記録する事が多いので、もっと多くの人に知ってもらい活用してもらえるといいと思います。

- ・ 記入方式の為めんどろ。相談する側、受け取る方ともに記入していける様なものが良い。

- ・ 子育ては、一日一日を全力でがんばっていて、時間があっという間にすぎる。子どもが小さい頃どんなだったかきちんと記録しておく、とても良い宝物になると思います。あの頃あんなに大変だったなって笑って話せる今があるので。兄と弟の記憶が混ざっている、やはり個々の記録は大事ですね。

- ・ 足りなければ自分でコピーして綴れる所がよいと思った。

- ・ 先日、もっと詳しく記入できる。にこっこの「たけのこぐんぐんファイル」の講習に出してみました。

- ・ 項目(内容)記入欄が少ない。家族の障がい受容がどの程度なのかとか移行支援ファイルとして活用するには全く足りません。

- ・ すくすくファイル、どういうものか知りませんでした。

- ・ あまり利用していないのもったいないと思う。

- ・ なかなか時間がとれず未記入です。成長の記録として残しておくにはいいものだと思います。

- ・ どんなファイルかよくわからないので不明です。

②

○調査票 1 (6) 【公立保育園】【私立保育園】回答理由

平成 25 年度 発達障がい者支援に関する実態調査 集計結果

【公立保育園】

1 (6) 担任との就学相談に関して、個別支援計画書・申送書等を保護者と一緒に作っていますか。→ ② (一部作成している) と回答した理由

- ・サポートプランは作成しているが、すすくファイルは活用していない子もいるので
- ・年長児 1 名を OT、PT 言語教室などの様子について母親から報告を受けながら作成している。
- ・「きらり」と保護者から依頼があったため。
- ・面談を行ったり、園であらわれを記入し就学時相談に役立ててもらっている。
- ・きらりに相談、受診をしている園児には、個別支援計画書を作成している。
- ・サポートプランは作成しているが、すすくファイルの様式は使用していない。
- ・就学にあたり、対人関係、学習面において保護者が学校側に伝えておきたいと判断したため (申送書)
- ・小学校で個別の支援が必要だと考えるので保育園での支援の状況等を伝え引き継ぎたい。就学相談に関しては個別支援計画書は作成していますが、申送書は行っていません。
- ・保護者から依頼を受けたケースのみ作成

1 (6) 担任との就学相談に関して、個別支援計画書・申送書等を保護者と一緒に作っていますか。→ ③ (作成していない) と回答した理由

- ・保護者からの希望がない
- ・就学相談等で必要な子がいなかった。(昨年度は作成した)
- ・該当者がいないため・年長児がいないため・面談で話をしている・今後の予定
- ・保護者が就学相談も希望しなかったため・年齢的にまだ就学相談の時期ではないので (3 歳、4 歳)
- ・保育要録を書き、保護者に確認してもらい、小学校に取りに来てもらう予定。
- ・集団生活や、親と離れた場でのあらわれ、家庭でのあらわれに違いがあり、発達支援についての理解を示していない保護者が多く難しい。
- ・保護者との面談を行い進めるようにしているが、園からの提案が多くなってしまう。(個別支援計画書)
- ・面談はしているが、母親が精神的な問題を抱えているので計画書作成までは行っていない。
- ・個人情報保護のことがある為、保護者からの要請がなければ、こちらから積極的にという働きかけはできない状況です。

- ・ 5歳児について、就学先も決めただけで、今後要録のみで送りとするか、個別支援計画を作成し送りとするか迷っている。
- ・ 「きらり」とつながっていない、医療機関とつながっていない場合、使用に迷う。
- ・ 未診断の上、就学までにまだ時間があるため。
- ・ 保護者が子どもに支援を必要と考えていない為
- ・ 保護者と一緒に作成はしていないが、サポートプランに基づいて保護者面談を年4～5回実施している。子どもの様子、保育の中での対応、支援を示し、保護者からの希望や子どもについての課題等の聞き取りをしてサポートプランに活かしている。
- ・ 現在は保育支援の為の個別支援計画書は作成しているが就学相談に関しては今後検討しながら進めていきたい。
- ・ 5歳児について、個別指導の成果から安定した集団生活が送れるようになってきた為。

【私立保育園】

1 (6) 担任との就学相談に関して、個別支援計画書・申送書等を保護者と一緒に作っていますか。→ ③ (作成していない) と回答した理由

- ・ 未診断のため・就学前ではないため・1～2月に作成予定
 - ・ 一緒に話し合いはしているが書面では行っていない。園内でのすくすくファイル活用が不十分
 - ・ 保護者と一緒には作成していません。
 - ・ 言語教室、きらり、ともまだ通所前ではっきりとした診断、判断を待っているため。
 - ・ 保護者からの要望がない。(診断されたばかり)
 - ・ 保護者からの相談が今のところないため。
 - ・ 保護者の理解が得られていない。
 - ・ そこまでの必要を現在は感じていない。両親ともにベトナム人で会話も未熟。
 - ・ 今の生活にとってより良い物になるよう通っている。
 - ・ 親の意向で普通学級を希望している為。(兄が障害児クラス(2年から)である為、その流れは把握している。)・現在、園でお願いしている先生に相談予定。
- 保護者に全て見せることになるため。
- ・ 0～3歳児までの園の為
 - ・ 教育相談を行いました。(作成はしていませんが、私達ではわからないこともあるので、支援相談員の方に相談しました。)
 - ・ 担任のみで作成している。なかなか保護者と一緒には作成できない。(保護者の仕事の都合だったり)

③

平成 25 年度 発達障がい者支援に関する実態調査結果 調査票 1 (9)

【公立保育園】【私立保育園】【幼児言語教室】事例

(9) 「すくすくファイル」／「サポートファイル(個別支援計画)」の活用により、個別の支援を展開できたケース、よかったと思う事例について記入してください。

- 1 保護者の面談時に活用し、情報共有ができる。各個人の発達のおさえができ、支援計画が立てやすい。
- 2 サポートプランを園研修で取り入れ、複数の保育士で作成し、いろいろな手立てを考え、実践し、成長がみられた事例はいくつもありました。
 - ・トイレに行けるようになった。「トイレに好きなキャラクターの絵をはり興味をもたせる。」
 - ・スプーンを持って食べる。「乳児のスプーンから使い始める」など
- 3 保護者との面談を通し、家庭での姿から保護者が対応している事を同じように園でも取り入れたり、また、保護者と共にこれができるようになればという事をサポートプランに取り入れ、家庭と園の両方で成長していく姿がみられた。
- 4 スモールステップで進めているので、改めて成長していることがわかる。・出来るようになったのに、あえてやろうとしないことが改めて確認できる。
- 5 サポートプランを面談の時に保護者に見せ合うことで、その子の特性や支援していく内容を具体的に伝えることができた。・保育園から小学校、デイサービスに子どもの様子を伝える時に利用した。保護者が「何回も説明しなくてもよくなり助かりました。」と言っていた。・子どもの発達を見直す機会になり、支援の方法を具体的に考えることができた。
- 6 サポートプランの話し合いを学年で行っているため、職員同士が共通理解し統一した支援ができる。また、園内で情報を共有することで、担当保育士一人が息づまることがない。話し合いの中で他の職員からアイデアやヒントを得ることができ、園全体がスキルアップできる。・サポートプランを基に、保護者と面談を行い、実践後の様子、今後の手立て等を伝えていく中で、家庭と連携して同じ方向性で保育を進めることができた。
- 7 手先の不器用さがある子に対し、園では指先を使ったあそび(ゴムはめ、洗濯ばさみを使ったあそびなど)を行っていった。また、保護者との面談の中で、家庭でできる手伝いの中から、洗濯物干しを、指先を使ったものとして提案した。園と家庭で連携していく中で、指先を楽しんで使いながら少しずつできる事が増えてきているように

思う。

- 8 保護者と支援について話し合う機会がもてた。
- 9 書き方にもよるが、今、何を支援しているのかわかりやすく、だれが見ても理解しやすい。
- 10 クラス職員で情報を共有し子どもの発達の確認ができる。・次年度への引き継ぎや家庭との連携に役立っている。
- 11 サポートプランを基に、ドクターからカンファレンスを受け、障がいの特性や具体的な支援方法、就学に向けての見通し等のお話を聞くことができ、保育に活かすことができた。
- 12 サポートプランを基に、個別相談などした場合、指導方法などについて保護者と共通認識しやすく、就学に向けても親の不安が軽くなったり参考になるところがあった。
- 13 サポートプランを見せながら面談することによって、伸びているところ、頑張りたいところなどがわかりやすく、つながりを持って計画を立てていることを保護者にも理解してもらいやすい。
- 14 園内ケース討議の際、サポートプランを活用し関わり方や支援などについて皆で話しあったり、アドバイスを受け実践している。担当だけではなく、園全体の職員が見に少しずつ適切に関わりに努めている。大変効果がある。
- 15 サポートプラン、保護者と面談しながら立ててはいる。保育園での姿を伝えたり、保育目標、どのような対応をしていくかなどサポートプランを使うことで伝えやすい。しかし、まだ家庭と連絡しながら進めているかという点と難しい。・園内やクラス間の職員が連携をとり保護するために活用している。また、保育の振り返りをしたり、対応方法を考えたりする時に役立っている。
- 16 サポートプランをもとに、クラス、園全体で発達をとらえ話し合い計画を立てることができる。
- 17 サポートプランの活用により、支援すべきところが明らかになり、複数担任なのでお互いに情報を共有することができた。3か月に一回見直しをするので、成長や本児自身の発達の様子がわかりやすい。困ったことがあると大泣きして訴えていたが、サポートプランで具体的な対応「先生のところに来て言葉で伝える」を考えてきたことで改善できた。
- 18 年度当初、保護者との面談を行った上でサポートプランを作成していくことで、子どものこと（こだわりや身辺自立、言葉など）を細かに知ろうと担当も関わりながら明確な目的をもって支援できる。・定期的に見直すことで、スモールステップでの支援の見直し、評価をくり返すことができる。事例として記入するのは難しいですが、できることを基に伸ばしたいことに向かってプランを立てていくことは、日々、子どもの様子を思い、さぐりながら次のステップを考えていくという子どもの今が出発点となる支援だと感じています。

- 19 サポートプランを立てることで、今一番何をポイントとして支援したいのかがわかり、周囲も協力しやすい。
朝の挨拶をする＝職員みんなが知っていたので「おはよう」の声をかけていく。言われて「おはよう」と返すが人数が多いので毎日何度も「おはよう」を言うことになる。初めは、担任や知っている保育士だけに言っていたが、繰り返し言われるうちに顔も覚えてきて、より多くの保育士に言えるようになり、自分から「おはよう」というようにもなっていた。サポートプラン⇒「おはよう」と言われたら「おはよう」と言う。知っている人には自分から「おはよう」を言う。
- 20 きらりに相談に行っていた子どもだったので、個別支援計画を担当が書き、親に学校へ持っていくようすすめることができた。
- 21 支援方法が明確になる。
- 22 保護者と年3～4回の話し合いの中で、園児のことで心配事、色々な話ができ互いの情報交換の中で、共通理解のもと、その後、特に気をつけていきたいこと、指導していきたい内容が一本化していく。保護者の不安も聞くことができ、保護者支援にもつながっている。
- 23 サポートプランを母と面談して作っていくので、家での関わり方、保育園での関わり方を話し合うことで同じような関わりができた。例えば、経験させたいことのところに、大人の足の上に寝かせてふれあい遊びをすると書き、保育園でも家でも同じように遊ぶことで楽しみがわかるようになり、視線を合わせることが増えてきた。
- 24 サポートプランを作成したことで、スモールステップで目標を立て支援をすすめてきた。そのことで、より細かい支援をすることができ、自分の支援の仕方を見直すこともできた。
- 25 サポートプランを活用し発達の弱いところ、つながりにくいところを親と共に進めていった事例：ロッカーや道具箱を間違えて他の子の物を使ってしまう時があった。マーク、場所が覚えられないのかもしれないと考え、改めて確認していった。分かる時と間違える時と一定していなかった為、よりわかりやすいマークで本児の好きなアンパンマンにすることを話し合った。母親にも相談したところ、母親が手作りしてくれ、本児もそれ以後間違えることがなくなった。
- 26 言語面の力は持っているが、表現ができず、表現方法のひとつとして物を投げたり、泣いたりする行動がみられた。困ったことがあった時などに言葉で表現することができるよう、サポートプランをたててスモールステップを試みた。サポートプランをたてることで、保育の対応が整理でき、保育士自身もゆとりをもって関わり対応することができた。

27 それぞれの項目を記入することで（全身、手先、身辺の自立・言語など）、食事の時はどんなことに注意していこう、全身運動、手先の運動はこんなことを入れていってみよう等再確認ができる。問題点、気になる行動が明確に見えてくる。

28 サポートプランを作成するにあたって、本児の伸ばしたい所に対してどういうサポートが必要か、また、どういう方法なら本児が少しでも目標を達成できるのか計画を立てながら考えることができた。次回の支援計画を立てる際も、現在のプランの内容を振り返りながら立案ができた支援は必ずしもうまくいくことばかりではなかったが、いろいろな方法を試してみるきっかけになった。毎日繰り返し伝えたり、ステップで計画することで保育士自身も余裕をもって支援ができた。

- ・活動への切替えが苦手な子に対して：・ 戸外遊びから室内へ入る場面⇒保育士の声かけのみでは入室できずあそび続ける⇒絵カードを利用して次の活動内容を示すことで見通しをもたせる⇒入室できた。

- ・数字文字に興味があり一日の生活の流れを一覧にした⇒「次は手順の中の○番です」と伝え、活動への移行がスムーズになってきた。トークン表にて頑張りを認めている。入室時間を紙時計に記入して服にはる。タイマーをセットしておく保育士の声かけにより入室ができる。

29 「サポートプラン」の作成によってその子の気になる所、その対応方法を相談し正しい対応方法を教えてもらい、クラス担任（複数）全員の共通理解のもと対応をとっていくことで、その気になる所が良い方向に向かった。発達障がい児に一番大切なその子に対して一番良い環境、一番良い対応をとることができた。

（事例）広汎性発達障害：衝動性のあるコミュニケーションのとれない3歳児男児

- ・本児の目の前の視界に入るとすぐに手が出る為、なるべくそういう場面にならないよう配慮。
- ・特に機嫌が悪い時は、側について援助し、本児の好きな玩具を用意し本児の遊びのスペースをつくる。
- ・パニックになった時は、クールダウンできる場所を室外に設ける（廊下等）・狭い廊下等の通路では電車になって片側通行をするルールをつくる。（歌をうたいながら通る）
- ・友達と一緒にのこをやるようにごほうびシール貼（トークン表）を取り入れると喜んで一緒にやるようになる。
- ・生活の流れをスケジュール表にすると、見ながら行動にうつせる。”

30 年長男児（社会性、人間関係、多動、衝動性）保護者との関係は成長と共に安定していったが、友達とのトラブルは多発していた。

アドバイス：お友達を注意するのは保育者の役割とする。実践：クラス集団の中で本児も友達と楽しく遊びたいと思っていることを話す。友達から注意され続けてはつらいことや、伝えるのは先生方が上手なので任せてほしいと伝えた。

→その後、友達の本児への関わり方が変化したことでトラブルが少なくなり、安定して楽しくかかわれることが多くなった。

その他：トラブルの後、絵を描きながら状況説明をして、1対1で一緒に考えることでこんな時どうしたらよいかよく理解できるようになる。

31 5歳児男児、多動、衝動性があり、意味もなく周りに手をだしてしまうことがある。飽きやすいが興味のある事には根気よく制作するなどをする。口頭の指示だけでなく視覚支援する。例えば、

- ・ 部屋から廊下へとびだし⇒ストップライン
- ・ 遊戯をする時の立ち位置⇒ツール
- ・ 折り紙手順・行動する順番⇒トウクン表

32 専門家によるアドバイスを受けて、その子に寄り添った指導を考えることができた。正しい共通認識を得ることができた。

33 きらりの書式は、現在の様子としてコミュニケーション、対人関係、生活面等あり全体的に児を捉えることができ、担任ではない職員も児の様子がだまかにわかり次年度につなげやすいと思いました。

34 サポートプランを作成したお子さんは、受入れ側の学校の体制が良く、お子さんの理解を得られた場所の先生方も対応に困らず過ごせた。

35 在籍園とのお子さんの様子について、共通理解できた。・就学前に保護者とお子さんの様子について確認し、就学先の先生方と話すきっかけを作ることができた。

④

○調査票2【公立保育園】【私立保育園】回答理由

平成 25 年度 発達障がい者支援に関する実態調査 集計結果

【公立保育園】

2 支援体制サポート強化事業（サポートコーチも巡回指導）の効果について 「サポートコーチによる巡回指導を受けたことがある園」

①「大変効果がある」と回答した理由

- ・具体的な指導方法を継続して指導してもらえる。
 - ・保育園側が悩んでいる事など相談すると的確にいろいろアドバイスしていただけるので、とても効果があります。回数がもう少しあるとうれしいです。
 - ・その子にあったアドバイスをいただけるので、即支援につながっていく。また、他の子への支援にもつなげていく事ができる。
 - ・子どもを見てもらい、適宜アドバイスを頂ける。・保護者対応や対応の仕方についてアドバイスを頂ける。
 - ・自分たちだけでは、今の支援方法が子どもに合っているのか不安になる事も多いが、アドバイスをもらったり、話を聞いてもらう事で、自信になったり、職員の意識向上にもつながっている。
 - ・該当の園児について、具体的なアドバイスを頂くことができ、毎日の保育に役立てることができました。また、保育士のスキルアップにつながると共に、担当保育士の不安感をぬぐうことができました。
 - ・本児の苦手な部分の精神面を切り開くきっかけをアドバイスしてもらった。気持ちを数字であらわしたりした事で、苦手な度合が理解でき、少しずつ経験する事で、保育士も受け止めたり頑張った事をほめたり、共感し、苦手な度合も本児にとって軽くなってきている。
 - ・他園の巡回指導に参加したことはあるが、自園で受けることができれば、各々の様子を見てもらい、より実態に即した具体的なアドバイスを受けられると思うため。
 - ・実際に子どもを見ていただき、具体的な言葉かけや対応についてアドバイスもらえる。
 - ・子どもをとりまく環境をサポートコーチの方が理解してくださったうえでアドバイスもらえる。
 - ・クラス担任のみでなく、職員全員で共通理解することができる。
- 園にカンファレンスに来ていただいたことで一人ひとりにあった指導方法を教えていただく事ができて、担当職員だけでなく、全職員でよりよい指導方法を共通認識することができた。
- ・園内で行っているサポート（支援・援助）の不安な部分がサポートコーチにアドバイス

を頂くことで解消されたり、改善につなげることができる。また、個別支援について皆で考える場となり効果があると感じる。

- ・個々にあった具体的な支援のアドバイスを受けることができた。また、今悩んでいる事に対しても、指導を受けることができすぐに活かす事ができた。

- ・園に巡回指導が来てくれたので、今までサポートプランについて知らなかった。職員も多くの学ぶことができた。

- ・子どもの様子を聞いてもらい対応の仕方を具体的にアドバイスいただけるので大変役に立っている。また、以前、保護者との面談をしていただき、次につなげることができた。今後も期待したい。

- ・個別の指導を一緒に考えてもらったり、現在の状況に即したサポートを受けることができて、とても参考になると感じた。

- ・保護者と直接会って話を聞いてアドバイスをいただくことができ、この巡回をきっかけに積極的に専門機関を利用するようになった保護者がいました。保育士自身も保育プランをたてるうえでヒントをいただきました。

- ・自園で困っていることを実際の場面をサポートコーチが観察し、適切で具体的な指導、支援方法を提案してくれ、職員ができるだけ多く聞けることで共通理解できた。

- ・保育士のスキルの向上・子どもへの対応の仕方がわかる・悩みが相談でき、アドバイスをもらえることがとても心強い・保護者にも園に来るということで紹介したり、誘ったりしやすい。

- ・支援方法がわからず、園内でも話し合いはするが、「それでいいんだよ」と一声をかけてくれる巡回指導は担当保育士に必要なことだと思います。

- ・サポートコーチからのアドバイスにより、具体的な支援方法を知り、すぐに実践に活かせる。

- ・サポートプランの作成の仕方を学べる。・いろいろな支援法が学べる。・いろいろな障がいについて知識を多く学べる。

- ・保育士の一生懸命保育していることを理解した上で専門的な立場で助言、具体的には指導方法、また、一年を通して同じ園児を継続してみていただけることは大いに意義のあることだと思います。

- ・日々の支援の中で悩むことが多いので、助言をしていただき支援の方法が広げられる。・専門の人からのアドバイスを受けたことで保護者へ伝えやすくなる。家庭も同じように支援をすることにつながる。

- ・子どもの姿から具体的に対応の仕方の助言をしていただいたり、現在の関わり方などを指導してもらい、保育士が見通しを持って保育できるようになった。・保護者の疑問にも具体的に答えてもらい安心感ももてた。

- ・子どもの現在の成長の姿、その子の保育、対応についての支援を保育士が整理することができる。また、その子どもの次の保育の課題を見つけることができる。

- ・実際に園児の様子を見ていただき、その子にあった具体的な支援方法や子ども理解の考え方等、多方面から教えていただき、大変参考になっています。
- ・支援計画と保育実践の実際の様子を観察していただいた後にカンファレンスを実施してくださる為、指導が具体的で職員の不安等も理解していただける場となっている。また、次の手立てに向けての意欲にもつながっている。

②「効果がある」と回答した理由

- ・担当する保育士が障害児担当経験者とは限らないし、研修で知識を得ても一人一人支援方法は違うので、その子に合った支援方法を指導してもらえる貴重な場である。ただ、自園では11名の加配児と2名の気になる子がいるので、全員のアドバイスを受けることができるわけではなく、もっと機会が多くあるとよいと思う。
- ・アドバイスをもらえ、保育の役にたつが、巡回指導者にその子を見てもらうのに時間が短いと思う。もう少しその子に対し追って見てもらえる様な体制になるとありがたい。サポートプランの記入の仕方がわかり、子どもの姿に沿った支援ができるようになる。
- ・専門的な観点からアドバイスを頂ける。
- ・障がい児の支援の仕方を直接聞いたり、他園の支援の仕方を聞け参考になり勉強となった。
- ・その子に合った対応の仕方を教えていただき支援している。
- ・具体案を示してもらえ、保護者対応などの時伝えやすい。・支援内容を細かく指導していただき実践している。・伝わりにくさを強く感じていた保護者に対し母親の関わり大切さ、どのような関わりをすべきかなど具体的なアプローチの仕方を教えていただき、それをもとに伝えることができた。
- ・親との共有できる事が多くなる。
- ・保護者と共に受けることで、子どもに対し同じ支援ができる。また、子どもの理解が深まる。保育士として支援技術の向上につながる。
- ・今の支援の方法を見てもらい指導して頂き、新しい支援の方法を具体的に教えていただけるので

2 支援体制サポート強化事業（サポートコーチも巡回指導）について

「サポートコーチによる巡回指導を受けたことがない園」に対し、巡回指導を受けてみたいと思いますか。

①「受けてみたい」と回答した理由

- ・サポートプラン記入の際、その子にあった次の手立てについて、アドバイスしてほしい。
- ・スモールステップのその子に合った段階を知りたい。
- ・実際に子どもを見てもらい、アドバイスをいただけるのはとても勉強になる。また、保育をみてもらうことで、保育士の力につながる。
- ・来年度、自閉的傾向の子が入所予定のため。
- ・各ブロック内の強化事業を受けている（受けた事がある）

・研修等で気になる子について質問しアドバイスを頂いていますが、実際に子どもの様子を見ていただいた方が、より子どもの様子が伝わり、子どもに合った援助の仕方を教えていただけたらと思うので、実際に指導している所も見せていただきたい。

・現在、保育士が保育に悩んでいるので気になる子、その子の対応の仕方や悩みを伺いたいと思っています。きらりの先生に今月コンタクトを取らせていただこうと思っています。

②「受けたくない」と回答した理由

・該当する児童がない。

③「受けたいが受けられない」と回答した理由

・状況に応じて

・乳児専門の施設の為

【私立保育園】

2 支援体制サポート強化事業（サポートコーチも巡回指導）の効果について

「サポートコーチによる巡回指導を受けたことがある園」

①「大変効果がある」と回答した理由

・個々のスキルアップにはもちろん、担任の理解してくれる人が増える安心感は大きいと思いました。また、園内の共通理解も深まり、園全体のレベルアップにもつながると思えました。

・日々、気になる子への対応についてやっていたよかったのか否か確認が取れアドバイスもいただけるので、担任も安心できる。

・サポートコーチによる巡回指導では、その気になる子に対する対応の仕方に困ったことを直接相談することができ、その正しい対応の仕方を教えてもらい、すぐに保育にあたることができる。年に4回巡回指導に来てくれ、その間に対応に困った時も電話ですぐに解決方法を聞く事ができる。発達障がい児に一番必要な一番適した対応・環境を作ることができる。また、サポートコーチの方が、本当に優しく親身になって話を聞いて考えてくれ、そして適切なアドバイスをしてくれ本当に人間性も素敵で信頼できる方である。年間通してみていただき、指導していただくので、自分たちのサポートの仕方の見直し、次のステップ、サポートなどを知ることができ勉強になるので。

・対象児への関わりはもちろんですが、他児や保護者への伝え方が具体的に良くなった。

・担任以外の職員との共通認識をしていくうえで、きらりの方の助言はわかりやすくよかった。

・対応の仕方など、細かい部分で指導して下さるので、とても参考になります。アドバイスいただいたことを実施しよい効果がでています。

・実際に保育を見ていただき、その後職員との話し合いやアドバイスを受けたり参考になった。また、保育での一つ一つの関わりを確認できた。

・専門的アドバイスを受け、多角的に子どもを見ることができた。

・気になる子の支援の方法というのは、一人ひとりのその子の状況によって異なると思うが、巡回して頂き、実査にその子を観察して頂くことにより、具体的なその子に合った支援、その子の理解が深まり、大変保育の参考になりました。

・個々の子どもに対しての園での対応や家庭と園との連携のかけ橋的存在で大変お世話になっている。

・気になる子が増えていて、専門的知識がないので

②「効果がある」と回答した理由

・巡回指導となるのかよくわかりませんが、保護者（子）一園一きらりと連携をとりながら、園での様子をみてもらって必要な支援など助言をもらったり、保護者も相談にうかがったりしてきました。きらりの方から見た感想や指導法など伺うことができとても参考

になりよかったですと思いました。

- ・記録することで整理ができる。・指導内容はとても参考になるもので、活用させていただきました。

- ・今後保育に役に立つ支援の仕方を教えていただけるので・色々な視点からのサポートの仕方を具体的にアドバイスしていただく事により実践しやすく援助しやすくなった点も多い。

- ・本当にその子に合った指導をしているのか迷いがある時など、巡回指導を受けることにより、支援の仕方について再確認できたり、技術の向上につながることができ良かった。

サポートプランを作成し、子どもを観察してもらうことで具体的な支援の方法やアドバイスを受けられるので効果があると思います。

- ・現状にあった指導方法を教えていただいた。

- ・園全体で事例の子について共通理解ができる。・指導を受けることで保育士も気づくことができる（支援のアドバイス等をもたらえる）

- ・担任はサポートプランを記入することで、該当児の今現在の状況を確認し、どのように支援していくのか考えたり、指導していただくことで、該当児へのより良い支援の仕方を学んだりすることができるので、支援技術の向上につながり効果が期待できると思います。・担任以外の職員もカンファレンスに出席し、該当児の現況や支援についてのアドバイス等も話を聞く事もできるので、園全体の技術向上につながると思います。

手さぐり状態で行っていたが、個々に対しての指導の仕方を教えていただいた。

- ・具体的な子どもとの関わり方を教えていただいた。

- ・具体的に手立てを教えてくださいるので、実践し効果がありました。

- ・指導して頂いたことで、子どもとの関わり方を見直し各々にあった援助ができるようになった。

- ・巡回指導で日常の子どもの様子を客観的に観察していただき、気づけなかった視点、行動の理解を深めることができた。

- ・サポートプランの立て方や書き方などに不安があったが、年に数回来園していただき、具体的に指導していただけて良かったです。関わり方など、これでいいのだろうか、という部分もあり相談にのっていただけて自信になりました。

③「あまり効果がない」と回答した理由

- ・次への指導につながらない。

2 支援体制サポート強化事業（サポートコーチも巡回指導）について

「サポートコーチによる巡回指導を受けたことがない園」に対し、巡回指導を受けてみたいと思いますか。

①「受けてみたい」と回答した理由

- ・障がいの子がいれば受けてみたいと思います。

- ・巡回ではないが、相談指導を受けたいと思い電話したが、忙しいと断られた。

- ・発達障がい、気になる子の対応方法などが理解できる
- ・気になる子が増えてきているので、個々のサポートについて指導を受けたいと思います。
- ・現在、園の児童票、ケース記録などで記録しているが、障がいについての記録として児童を理解しやすいと思う為。
- ・新たな視点、ご指導をお願いしたい為。
- ・必要な子が出た場合、希望したいです。
- ・発達が気になる児童が1名いるが、転園を希望している為、。
- ・現在、対象園児はおりません。今後対象園児があれば検討相談します。
- ・今まで対象児がいなかったなので、今後、でてきた場合相談にのってほしい。
- ・子どもに対する援助の方法など、一人一人に合った指導が受けられると思われるので。適切な支援が得られると思う。
- ・現在、対象者がいないが、対象者がいた場合は巡回指導をお願いしたいです。

②「受けたくない」と回答した理由

- ・現在、保育課が行っている障害児巡回指導を受けているため。

⑤

○調査票3【公立保育園】【私立保育園】回答理由

平成25年度 発達障がい者支援に関する実態調査 集計結果

【公立保育園】

3 支援体制サポート強化事業（ペアレントメンター派遣事業（今後予定））について、保護者支援を目的としたペアレントメンターの派遣を希望されますか。

①「希望する」と回答した理由

- ・保護者の相談機会が増え、相談しやすくなる。
- ・保護者が障がいについてや育ちについて理解できていないケースもあるので、保護者を支援するうえで派遣してもらえるとよいと感じる。
- ・同じ保護者という立場の人同士の交流は保護者にとって心強いものとなるのではないのでしょうか。・今、目の前の事だけでなく（少し）先を見通した話も聞けると安心につながっていくのではないかと。
- ・気になる子を医療機関へつなげやすい。・気軽に相談できる場があれば、保護者も相談しやすい。
- ・保育士が日々保護者支援も行っていて、満足してもらっているが、専門員の方が担当してくれれば、保育士とは違った面での支援ができると思う。
- ・専門家の話を聞く事で、子どもへの関わり方を教えていただいたり、親の気持ちに寄り添って発達の相談にのってもらえる。
- ・保護者の中には、子育てや就学について悩んでいる方も多く、専門家が園に来てお話しくださる機会があったらいいと思います。
- ・障がいを持つ子どもを育ててきた同じ立場の親がメンターになっていることもあり、経験からのアドバイスも生活や成長により密着しており、保護者の悩みや気持ちに一番近い存在でよりそえる存在になってくれると思う。
- ・当園では、加配児の保護者の集まり（親の会）を年4回行っていますが、障がいは多岐にわたり同じ障がいを持つ子の親からお話を聞けることはとても有意義だと思います。なかなか仕事を抜けて行くことが難しく、パート・臨時などは研修等出席する機会も少ないので、派遣して来園してくれればみんなで参加して勉強していけるように思う。
- ・保護者の方は多くの悩みをかかえているので、園に来ていただけると気軽に相談にのってもらえると思うのでぜひ希望したいです。
- ・保護者の立場を良く理解したうえで相談にのっていただく事ができ、具体的なアドバイスを受けられると思うから。
- ・集団生活での困難さが保護者に伝わりにくい。家庭での関わり方など専門員やペアレントメンターの方がお話しくださると、保護者の方も安心して話が聞けるのではないかと

考えます。

- ・迷いがある方なども気軽に相談していけると思う。
- ・子育てについて相談したいが言いだしにくいと感じている保護者もいると思われる。気軽に専門の方に相談できる場があるといいのではないか。
- ・担任から伝えづらい発達面の様子を、第3者の話を聞くことをきっかけに、話を聞いてもらえたりすると思う。
- ・障がいを持っている子を持つ親として、同じ立場であるペアレントメンターの経験談などを聞きながら受容してもらい我が子を育てるアドバイスがいただけると思ったので。
- ・保護者が話をしたくても、クラス保育士に言っていないものかと悩んだりしている方もいます。全く園と異なる場所から支援に来てくれているのが親にとっては相談しやすいのかもしれない。数年前に他都市で行っていた話を聞きましたが、親のみならず、保育士の相談までのってくださったと聞いています。現在、保育園の中はたくさんの保育メニューにおされ保護者支援に十分な対応まではしていないのではと思っています。
- ・気になる子をかかえている保護者にとってはとても心強い支援を受けることができると思う。
- ・子育て支援の場での参加者の相談にのっていただく、話を聞いてもらう。
- ・興津地区は、「きらり」が遠いので、いろいろな事業に参加しにくいということがあります。園に来ていただき、相談等にのっていただきたいと思います。
- ・蒲原地区は、「きらり」までですと遠距離なので是非、巡回指導相談にのっていただくとうれしいです。保護者の方の中には、保護者さんだけでは少し心配の方もいらして園と一緒に指導を受け、進められたら良いと思います。
- ・由比地区から支援センター等へ出向いていくのは距離的に大変。子どもの発達の事で園以外の機関に積極的に支援を求めようと行動できるお母さんならば心配はないが、迷っていたり、不安を抱えているお母さんたちにとっては地域に出向いてくださる支援は必要であると思う。

②「希望しない」と回答した理由

- ・巡回など現在の体制の中で十分支援できているのであまり必要性を感じていません。
- ・現在は該当児がないため
- ・園に入園している兄弟が発達障がいがある場合、乳児だと入園できない。そういった配慮は出来ないか？（兄弟があれば良いとか）
- ・発達障がい児の受入れ施設が少ない。公立保育園でかなり受け入れているが、私立保育園、幼稚園でも受け入れて欲しい。
- ・保育士は希望したいと考えるが、保護者の意見も聞いていきたい。また、「〇人以上なら子育て相談会を開けます」ということでは、なかなかお願いするのも難しい。少人数2～3人でも自園で行えれば参加したい保護者はいると思う。
- ・支援を受けている子の保護者の会（集まり）があるので、保護者の希望があればやって

みたい。

・自園は、加配の親の会などはなく、ペアレントメンターの派遣があっても参加してくれるかはわからない。しかし、そのような催しがあるとわかり、相談したいと思う方もいるかもしれない。

・まだ、そこまでの意識が整っていない。

・保育士が支援していきたい。

・保健福祉センター、言語教室など関係機関が連携をとって、その後の発達を見守りつつ、総合的な支援が受けられるともっと良いと思う。・すすくファイルもサポートプランもまだ十分活用されておらず、もったいないと感じる。母子手帳と同じくらいの存在になるようもっとアピールしたり、母子手帳と並行してしようにできるような形がとれたらいいのでは、と思う。(場合によっては、すすくファイルのサイズも縮小した方がよいかもしれないとも思う。)

・現在、対象となる親子がいないため。

・該当しない。

・以前、就学の為に用意したサポートプランが小学校であまり活用されていないようでしたが、小学校では、すすくファイルの活用をどのくらいしているのでしょうか、お伺いしたいです。

・保育園の場合、子どもさんの年齢が低い為、個人差であるなど発達の状態を受入れられない保護者の方もいらっしゃいます。保育園の方に派遣だと決めつけられたという様な印象を持つ方もおられます。園よりもどこか別の場を設置し、出かけていく様な方法なら参加は可能だと思われれます。

・親の希望があれば考えたい。

・待機児童園のため

③その他(事業内容による)と回答した理由

・親の会の時などに来ていただけたらと思います。ただ、働いている保護者たちなので、予定をたてるのが難しいと思います。

・初心者向けの基礎的なわかりやすい研修等を行って頂きたい。(全園で障がい児を受入れていくので)

・子育て相談より、保育士の支援方法等の指導に来てほしいと思います。

・保護者のメンタルケアの為に必要があれば、そうした機会として紹介できるが、実際に相談相手として、人による、という心配がある。有効な働きがないと悪い方向へも向いてしまいそうで。

・気になるこについて園で悩んでいても保護者が納得しないと保護者に声をかけるのが難しいと感じています。

・保護者を対象とした講演会

【私立保育園】

3 支援体制サポート強化事業（ペアレントメンター派遣事業（今後予定））について、保護者支援を目的としたペアレントメンターの派遣を希望されますか。

①「希望する」と回答した理由

- ・ 支援を要すると思われる子があった場合には、専門的な立場から意見指導を受けて、子どもにとってよい対応をしていきたいと考えます。
- ・ 保育園だけでは支援が難しいと思うので
- ・ 相談する機会がある時。
- ・ 保護者に理解をしてもらうため、保育士ではなく専門員からの助言や支援をしてほしい。（以前、苦情になってしまったケースがあった為。）
- ・ 該当保護者の希望があれば利用していきたい。専門的な立場の方の指導は具体的で、その子どもに合った指導をしてくださると思うから。
- ・ 専門機関との連携を取る事により、より子どもの実態を知る。更に、今後の支援について指導を受けたい。
- ・ 希望したいと思いますが、どんな型になるのかが想像できていません。
- ・ 現在、2名発達に障がいのある子どもたちは卒園するため、今後検討したい。
- ・ 保育士同士、話し合いをするが、「気になるこ」にどう対処したらいいのかとまどう事もある。そんな時、来園していただきアドバイスを受けたく思う。
- ・ 保護者支援について、職員も知識を得たい為。
- ・ 必要な子がいた場合希望したいです。
- ・ 専門的立場の人であったりすることにより、保護者の方にも伝えやすくなったり素直に受け入れてもらえる。
- ・ 現時点では利用しないが、必要な時があれば利用したい。
- ・ 親が希望した場合には活用したいと思います。
- ・ 今後、相談があれば専門の方のご相談していただければと思う。
- ・ 今までなかったので、いろいろ指導してほしいです。
- ・ 保育園の役割として、母子分離することで見られる子どもの状態が把握でき、その状態の維持発展のために、専門的な保護者支援は必要だと感じる。
- ・ 今は対象となる子はいないのですが、必要なら参加したいと思います。
- ・ 必要な支援だと思う。

②「希望しない」と回答した理由

- ・ ペアレントメンターの派遣という事業の内容を理解できていないので、まだ受け入れが分からない。
- ・ 園で活用することを考えた場合、まだ診断されていない子、又は保護者がわが子の姿に気づかない場合、困惑や不信感を招く結果になりはしないかと考えます。
- ・ ペアレントメンターとは具体的にどんなことをして下さるのでしょうか。

- ・ 今後は検討していきたい。・今のところ、該当する方がいないため。
- ・ 保護者自身がまだ受け入れてない方も多いので。・親が同意しないため。
- ・ 今後指導すべき園児があれば検討相談します。
- ・ 現在対象者がいないため。
- ・ 障害児巡回指導でも、保護者支援を行ってくれているため。

③その他（事業内容による）と回答した理由

- ・ 内容がよくわからない。
- ・ 保護者が集まる時、懇談会の日、誕生会の日、特別に日にちを設ける、等
- ・ 検討中
- ・ 子育て支援として在籍していない子どもに対して園解放園内での行事（人形劇）等で対応している。今後、関係機関で立ち上げた事に対しては協力していきたい。
- ・ どのようなものが把握できていません。どのように活用してよいものかもわかりません。
- ・ 保護者に理解していただくまでが大変だと思います。もう少し詳しく事業内容の説明を伺いたいです。

⑥

○調査票4【公立保育園】【私立保育園】回答理由

平成25年度 発達障がい者支援に関する実態調査 集計結果

■4 その他、発達障がい児等の支援に関して、ご意見、ご要望等ありましたらご自由に記入してください。

【公立保育園】

- ・集団生活で支援が必要な子であっても、保護者が特別面接を受けることに応じてくれないと加配制度が活用できず、保育士が不足してしまう。
- ・すくすくファイル/サポートプラン（個別支援計画）の様式については、その子に合わせて項目を利用している。（このままでよい）
- ・加配児が多くなっている今、きらりとの関係はとても助かっています。今後もよろしくお願いします。
- ・発達障がい児の対応は、決して楽ではありませんが、クラスにいるからこそ他児が学べることが多いと思います。（やさしさ、思いやり、仲間づくり等）子どもの世界は受け入れやすいので、小さい頃からいろいろな人がいることを知るのとはとても良い経験だと思いません。
- ・個別支援計画を学校に提出したが、利用されていないのか保護者には不安が残っていた。学校へのお願いをしてほしい。
- ・園での支援で、就学前の移行期には、加配担当に頼らず、クラス保育士が支援方法を用いて保育するのが良いと考えているが、就学先では、実際につながっているのか、学校がどのような状態・方針であるのか疑問に感じることもある。
- ・きらりの巡回指導では職員にとっても勉強になるアドバイスをいただく事ができとても助かっています。また、保護者の方も具体的なアドバイスをもらいよかったという声が寄せられています。これからも継続してやっていただきたいです。
- ・発達が気になった時に、身近な小児科の先生や出産した病院また保健福祉センターの子育てひろば等身近な所での相談が充実していると保護者の方も相談しやすいと思う。そういう場で相談（発達の）に応じてくれるという事を知らない方もいるので、6か月健診等で知らせてもらいたいと思います。
- ・特別支援学校は地域ごとで充実はしてきているが、就学前の保育や療育を保育園が支援機関と協力して実施している実態がある。障がいのある子どもが増加しているにもかかわらず、いこいの家のような通園施設が1か所しか存在しないのはおかしい。療育が必要な子どもの施設を充実させ、施設と保育園が連携して交流保育を実施していくという形を

整えていただきたいと思う。

・静岡市は、医療機関とのつながりがあるので保育園での支援をスムーズに行え大変良い事だと感じています。これからもよろしく願いいたします。

・一般園ではないので、アンケートの参考にならなくてすみません。1歳児の中に気になる子はいるので、またお話になるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

【私立保育園】

・昔と比べ、発達障害への支援がとて進んできて、発達障がい機関や発達障がいを理解できる職種も増えてきた。また、今まで見すごされてきた発達障がい児へ向ける目もできてきて、対応の仕方もしっかりとしてきたのが現状である。でも、まだまだ保育園によっては、保育士一人ひとりに浸透していないのが現実でもあり、それを見極めていく目と力を自分で養っていかなければならない。それが正に自己研鑽であり、保育士の資質向上といえる。

・相談する機会がある時、助言、指導をお願いしたい。

・すぐに対応（相談）してもらえ事を望みます。

・必要性は感じますが、発達障がい児に対しての職員を含め園内の体制が整っていない。

・保護者や保育者との関わりで関わり方まなざしを見直すことで成長発達が可能な子どもは、保育者が学習したりすることで色々可能（というか、それが保育者の仕事だと思うのですが）ですが、発達障がいや障がいの疑い（心配）のある子どもには、専門家のアセスメントが必要だと考えます。また、その心配のある親子こそ専門家の方が数多く巡回してくださると助かります。

・交代で研修に参加しているが、一人一人気になる所が異なり、定期的な研修が必要と感じる。

・質問3がどちら目線でのことなのか分かりずらく、回答していません。・質問内容が難しかった。

・専門家の方に、子どもを見ていただく機会を多く持って頂き、細かくご指導をいただけたらと思います。親御さんの認識不足が子どもの成長の弊害になることがあることを現場では感じるがあります。ご父兄へ伝えたり、勧めたり、子どもさんの最善を模索する過程でご父兄と保育園が共通認識をもってやりとりできる段階にもってゆくことがとても大変です。

・発達障がいなのか、そうでないのか、保護者の許可をもらう前に子どもの様子を見て相談にのってほしい。・現在、きらりに行ってる子もいるが、きらりの予約がなかなかとれない。きらりのような施設が各区にほしい。

・きらりの巡回指導を定期的に活用させていただいていますが、一日の訪問で複数の園児をみてもらうため、過密なスケジュールになってしまいゆっくり観察していただいてアドバイスをもらうのが難しいです。指導回数を増やしていただければ（半日単位でも）あり

がたいです。(現在年2回来ていただいています。)

・すくすくファイルの情報があまり周知されていないと思うので、もっと情報発信をしてほしいです。

・各園個々に発達障がい児(家族)等の支援をするのは負担を抱えすぎる場合があると思う。支援センター(専門員)の方がこのように動いてくださっているのは大変安心感を持ちます。有難うございます。

・障害児、気になる子への人の加配がどうしても必要です。明らかに障がいがあるとわかっても、保護者の協力が得られなければ認定に至らず、一人の子に一人の保育士がつかなければならない事は、どうにか頑張っているが無理があります。複数の子を抱えている現状にあります。サポートコーチによる巡回でとても多くの事を学びました。継続してお願いできず、道中場で頓挫しそうです。保護者支援とともにより保育園のサポートを切望いたします。よろしくお願い致します。

・案内が少ないように感じます。

・静岡市保育課の障害児巡回指導・相談を受けています。保育園に入園後、保護者に子どもさんの様子を伝え相談を受けるようすすめ、その後の導きにきりりや言葉の教室を紹介していただきました。その取組みと今回のアンケートの関連がよくわかりません。

・今現在、気になる子がいますので(年中・年少)保護者の方とも話をして、どの様な対応をしていったらよいのかを相談したいと思っています。その時にはよろしく願いいたします。

・個人情報等もあり保護者の了解等がないと難しいのが現状です。保護者自身が受けとめて担任に相談してくだされば問題はないのですが、それ以前の段階が難しいです。こうした専門の方が巡回等して園(保育士)の相談等してくださると心強いと感じました。よろしくお願い致します。